

（様式4-1）

先導的な木造化の取組内容 概要（A4・最大3枚）

プロジェクト名		
構造・防火面で先導性に優れた設計又は施工技術の導入、耐久性への配慮 （要件(1)）	技術的な工夫の内容と普及・波及効果	※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、木造化に係る構造・防火面での設計・施工技術の工夫や当該設計・施工技術が他の事業者の参考となるなど普及性や応用可能性について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。
	基準の合理化等を踏まえたチャレンジ	※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、近年の建築基準法改正等により可能となった設計方法等の活用について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。
	耐久性に関する配慮	※募集要領の別紙1(1)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、建物の耐久性確保に関する普及性や応用可能性について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。
木材利用に関する建築生産システムの先導性 （要件(2)）		※募集要領の別紙1(2)の「評価委員会における評価にあたっての視点」を踏まえ、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。
主要構造部に木材を一定以上使用 （要件(3)）		以下のいずれに該当するか、選択して下さい。 <input type="checkbox"/> ①木造の建築物（主要構造部の全てを木造とした建築物） <input type="checkbox"/> ②建築物の部分が木造の建築物（立面混構造や平面混構造などのように、木造部分と木造以外の構造の部分の床面積を明確に切り分けられる構造の建築物） <input type="checkbox"/> ③主要構造部に一定以上の木材・木質材料を使用する混構造の建築物 ※上記の要件を満たしていることを具体的かつ簡潔に説明して下さい。
規模 （要件(4)）		※要件を満たしていることを具体的かつ簡潔に説明して下さい。
木造化された建築物の普及 （要件(5)）	①竣工後に提案内容を検証	※募集要領の別紙1(5)①を踏まえ、提案された個々の先導的な技術を検証するタイミング、検証方法、誰が検証・公表するのか等について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。
	②竣工後に多数の者の目に触れる	※募集要領の別紙1(5)②を踏まえ、予定する取組みの内容や当該施設が多数の者の目に触れること等について、具体的内容を箇条書きで記載して下さい。

	③設計・施工等に関する技術資料の公表	※募集要領の別紙1(5)③を踏まえ、設計図書等の技術資料の公表の可否及び公表の範囲(否の場合はその理由)について、具体的内容を箇条書きで記載してください。
	④建設工事費情報の公表への協力	□募集要領の別紙1(5)④について同意する。
	⑤炭素貯蔵量の算定・表示	※募集要領の別紙1(5)⑤を踏まえ、他の評価機関や評価方法により算出の上、炭素貯蔵の効果を見る化する対応を別途講ずる場合は、具体的内容を箇条書きで記載してください。
省エネ基準(地方公共団体等が建築主の場合、ZEH又はZEBの水準)への適合(要件(6)(7))	<p>※所管行政庁に届出した「届出書(第1面～第4面)」又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関等による適合判定通知書やBELS評価書等を提出してください。</p> <p>※申請時に添付ができない場合は、完了実績報告時に提出してください。</p>	
土砂災害特別警戒区域外に存すること(整備するものが住宅である場合のみ)(要件(8))	□建設地が土砂災害特別警戒区域ではない。	
その他	<p>※技術的根拠とした条文・規定類(法・政省令、告示、構造や材料等の大臣認定、防火検証法等)、任意評定、実験データ等を正確に記載してください。</p> <p>例)新たに大臣認定を取得した耐火性能を有する木質系構造部材を使用、全ての木材について森林認証材を使用(具体の認証制度名等についても記載)等</p>	

先導的な木造化の取組内容 詳細（A 4・最大7枚）

プロジェクト名	
<p>※提案する先導的な木造化の取組について、募集要領の別紙1(1)及び(2)に記載する事業の要件に適合していることが端的に理解できる説明（概要図や内外観イメージ図等を交えたもの）をしてください。構造、防火、耐久性の観点は必ずそれぞれご説明ください</p> <p>※なお、本様式によらない資料を用いる場合、A 4版1枚以内を条件に追加を認めます。</p>	